



国民春闘共闘

2023年度 第17号
2023年4月10日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23 国民春闘共闘賃上げ第4回集計

上積み獲得進む！単純平均 6,368 円・2.38%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は4月6日、第4回目の23春闘賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2023年	2022年同期
回答引き出し組合	777	874
うち 有額回答	498(64.1%)	506(57.9%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	279(35.9%)	368(42.1%)
うち 2次回答以上の回答	96(12.4%)	73(8.4%)
うち 妥結組合	233(30.0%)	216(24.7%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2023年要求	2023年回答	2022年同期	同期比
単純平均	額(円)	29,353	6,368	6,051	+317
	率(%)	9.50	2.38	2.04	+0.34
加重平均	額(円)		5,919	5,202	+717
	率(%)		2.07	1.95	+0.12
	組合員数		61,615	53,271	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	23年回答	22年実績	実績比
単純平均	額(円)	411	298(72.5%)	6,483	5,372	+1,111
	率(%)	250	159(63.6%)	2.42	2.02	+0.39

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	31.4 (23.2)	4,129 (3,800)	38.8 (31.6)	3,562 (3,828)
	率(%)	2.29 (2.67)	3.18 (1.66)	3.13 (2.24)	2.05 (2.73)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

4月6日の第4回集計は、新たに建設関連労連、映演労連から回答報告が寄せられ23単産・部会での集計となりました。777組合が回答を引き出し、そのうち金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得たのは498組合(64.1%)で、279組合(35.9%)は「定昇確保」などの言葉による回答となっています。

回答引出し組合のうち96組合(12.4%)が6次から2次の上積み回答を引き出しています。前年同期(2022年4月7日現在:73組合・8.4%)を4割上回りました。妥結組合は233組合で、妥結率は30%となっています。

回答内容

有額回答を引き出した498組合での単純平均(一組合あたりの平均)は6,368円・2.38%で、前回調査(3月23日:6,287円・2.34%)から上昇しました。前年同期比(6,051円・2.04%)で317円・0.34割増となっています。

加重平均(組合員一人あたりの平均)は5,919円・2.07%で、こちらも前回調査(5,916円・2.06%)を上回り、前年同期比(5,202円・1.95%)で717円・0.12割増となっています。

前年実績と金額で比較可能な411組合の単純平均額を見ると今期は6,483円で前年実績5,372円を1,111円上回っています。賃上げ率で見ると250組合の単純平均で2.42%と前年実績2.02%を0.39割(小数第三位以下四捨五入)上回りました。前年実績額以上の回答を引き出した組合は額で298組合(72.5%)、率では159組合(63.6%)となっています。このうち額では258組合、率では152組合が前年実績を上回る回答を引き出しています。

JMITUの東京地本では、4月5日に統一交渉団による産別団交の統一行動を終日展開し、この中で5次回答7,400円を引き出すもこれを不満とした組合や12,676円の4次回答にとどまった組合がストライキに突入。化学一般労連の組合ではベア7,900円を含む12,100円の回答を引き出すもたたかいを継続するなど、4月1日から10日かけて設定した回答促進強化旬間や数次にわたる産別統一行動も進めながら、各組合が粘り強い交渉で上積みを図っています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の9単産149組合から302件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者では202件の獲得となり、引き上げ額が判明している153件の単純平均額は31.4円となっています。率では25件平均で2.29%となっています。全印総連の組合では結成以来初となるベースアップ回答(定昇10円+ベア30円)を勝ち取りました。

日給制労働者では建交労、全印総連、出版労連での4件での獲得となり、引上げ額の単純平均は560円となっています。

月額制労働者では43件の獲得となっており、引き上げ額は37件平均4,129円、率では11件平均で3.18%となっています。生協労連では、エリア限定社員や専任職などで2,000円から8,000円のベースアップを実現しています。

再雇用者の賃上げ状況は時給制で30件、月額制で21件の獲得報告となっています。時給制

の引き上げ額では 29 件平均 38.8 円、引き上げ率では 8 件平均 3.13%で前年実績を上回っています。月給制では、引き上げ額では 18 件平均 3,562 円、引き上げ率では 10 件平均 2.05%と昨年を下回っています。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の獲得状況では、別表の 7 単産 61 組合で 130 件の獲得報告となっています。

時間額では 77 件を獲得し、新協定額の単純平均は 1,049 円と前回調査 1,047 円とほぼ同水準となっています。引き上げ額の報告があった 36 件での単純平均は 35.6 円です。

日額改定は 18 件の獲得で新協定は単純平均 8,448 円、月額改定は 24 件の獲得で 176,240 円となっています。出版労連からは、月額 227,230 円や月額 214,150 円・日額 10,710 円・時間額 1,530 円といった報告も寄せられています。

職種別は、前回調査と同じく日本医労連から看護師とヘルパーの獲得報告で、看護師の単純平均は時間額 1,244 円、日額 8,571 円、月額 198,800 円となっています。

第 2 回進ちよく状況調査

第 4 回賃上げ集計に合わせて、要求提出状況、ストライキ権の確立・実施状況などについて調査する第 2 回進ちよく状況調査を実施しました。4 月 6 日現在、別表の 17 単産から 2,281 組合（交渉単位）分の報告が寄せられています。

1,324 組合で要求提出が行われ、提出率は 53.4%となっています。前年同期（2022 年 4 月 7 日：1288 組合・55.8%）とほぼ同水準となっています。

ストライキ権は 1,226 組合が確立しており、調査中の 3 単産を除く 2,161 組合に対して 56.7%となっています。

要求提出組合の 60.9%に当たる 806 組合が回答を引き出しています。特徴は、前年実績を超えるベースアップ回答を引き出していることです。定期昇給分などの報告がなく賃金集計に反映されない分でも 5 桁のベースアップ獲得の報告も寄せられています。

また、ストライキに決起する組合も昨年より増えています。回答集中日翌日の 3・9 全国統一行動日以降も数次にわたるストライキを構え回答引出し、上積みを勝ち取っている状況が伺えます。

4 月上旬段階で妥結・妥結方向なのは 229 組合で要求提出組合の 17.3%となっています。要求をあきらめずに納得がいく回答を引き出すために各組合が奮闘しています。